

J-ARCHITECT

JAKUETS ARCHITECTURAL DESIGN MAGAZINE

ジェイアーキテクト

VOL.03



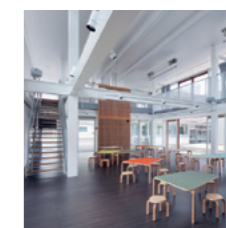
JAKUETS



地域で見守る教育環境づくりへ、 まちの視線を引き込む園舎

学校法人 明照学園 九品寺こども園 様

福島県いわき市で仏教系の学校法人様が運営する幼稚園は、1974年の開設以降、園児の心身を育む活動や外国人講師も参加する英語コースなど、特色に富んだ幼児教育を展開してきた。同園が幼保連携型の認定こども園として新たなスタートを切るにあたって、多数の園舎を共同で手掛けてきた建築設計事務所とのチームで新園舎を設計。独立した4棟を大屋根や外周デッキ、スロープなどでつなげた園舎は、建物の内外を元気に動きまわる園児の姿が敷地の外側からも見てとれる。子どもたちの成長を地域とともに見守る環境づくりを目指して、園児と園舎がまちの風景の一部となる空間を具現化した。



学校法人 明照学園 九品寺こども園 様	
所在地：福島県いわき市	《園舎概要》
主要用途：幼保連携型認定こども園	構造：鉄骨造2階建
定員：225名	敷地面積／2,625.62㎡
竣工：2018年3月	延床面積／1,398.80㎡
	建築面積／959.09㎡



1-a
〈プレイルーム〉園児たちが集まって給食を楽しむなど、家具次第で多彩な用途に利用できる



1-b
〈預かり保育室〉壁のホワイトボードや格子の裏に、教材や空調機器などの収納スペースを設けている



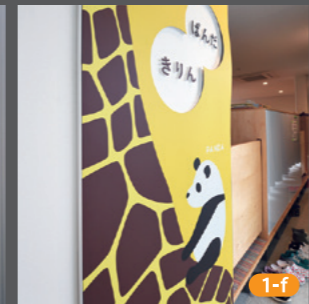
1-c
〈スロープ〉1階広場と2階デッキをつなぎ、立体的な動線を実現。外の通りからも坂を駆ける園児の姿が見える



1-d
〈園庭〉広場を通じて外部と空間がつながる園庭



1-e
〈広場〉棟の間にある2つの広場は、園児が水遊びなどを楽しむ空間となっている



1-f
〈保育室看板〉柱全体を飾るグラフィックでクラス名を表示



1-b
〈預かり保育室〉「土間」から一段高い床は、戸や窓を開放すれば舞台のようなスペースに変わる



2-a
〈保育室〉外側に面した壁の一部はガラス張り、園児の学ぶ様子が外部から見える



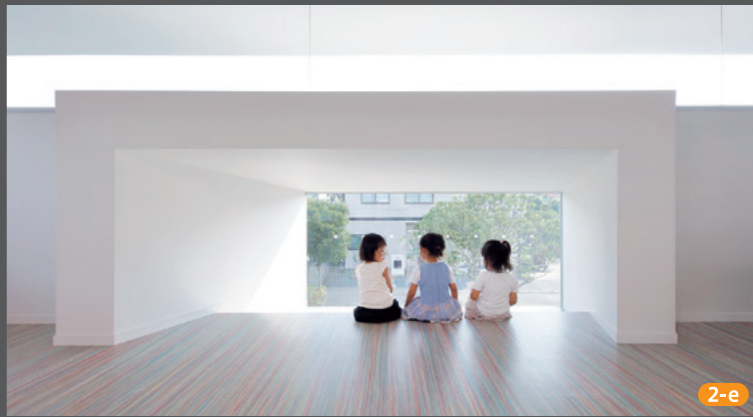
2-b
〈土間〉同じ棟の保育室は「土間」が繋がっている。間仕切りで区切ることも可能



2-c
〈デッキ〉4棟を1つにつなぐデッキは、子どもたちが駆け回るのに十分な広さ



2-d
〈ネット遊具〉正門前の空中に浮かぶように設置された特製遊具。2階デッキから出入りできる



2-e
〈デン〉Bクラス保育室の出窓を天井が低い小部屋（デン）に。園児たちにも人気

1-a
〈プレイルーム〉2階建ての4棟の中で、唯一2フロアを貫く吹き抜けと内階段が存在し、通りに面した外壁には天井までガラス窓が設けられている。園児全体が参加する活動などに用いられるほか、地域住民が集まるホールとしての利用も想定し、正門のすぐそばに配置されている

外から見通せる「あそび場」が、園児たちの躍動を伝える

園舎全体を「あそび場」として、外周デッキやスロープなどで立体的な動線を設定し、園児が駆け回って遊べる環境を整えた。さらに、子どもたちの活気を周辺の住宅街にも広げるため、「建物の存在感を消す」設計を提案。保育室やプレイルームにおけるガラス張りの窓とガラス戸は、外部からの視線を園舎の内部から向こう側まで透過させ、軒先を上げたV字型の大屋根は太陽の間接光を保育室に取り込み、下から見上げた際の視界に空が大きく広がる。各棟の間にある広場は、敷地中央の園庭を外部空間とつなげている。



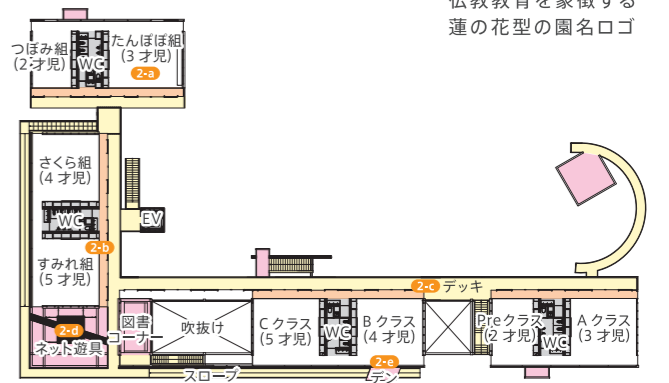
空に向かって上方へ傾斜する大屋根。夜は屋内の明かりを反射して周囲を照らす



1st Floor

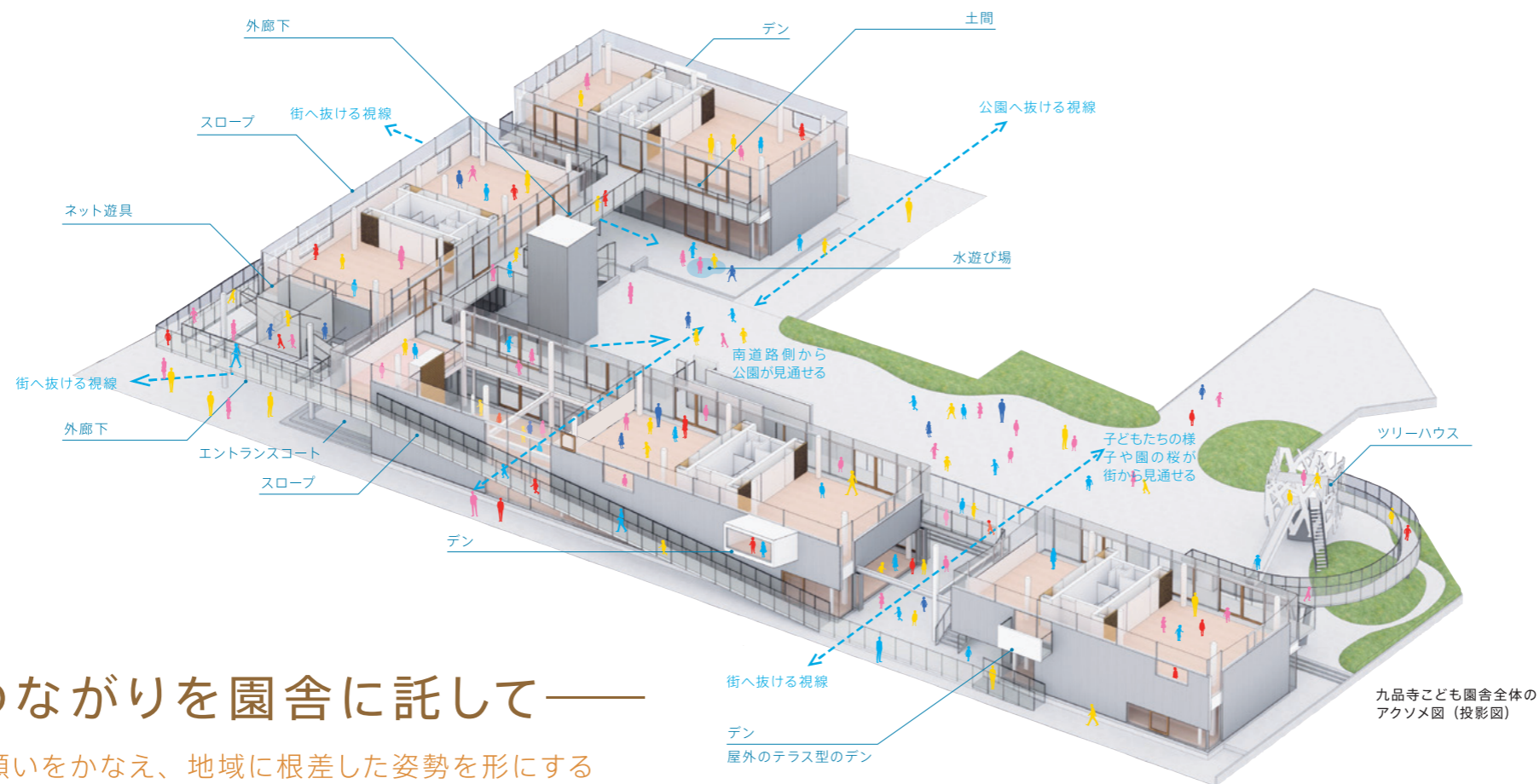


仏教教育を象徴する蓮の花型の園名ロゴ



2nd Floor

廊下・スロープ 土間 デン・遊び場



地域とのつながりを園舎に託して——

新時代の教育への願いをかなえ、地域に根差した姿勢を形にする

九品寺こども園の前身である九品寺附属幼稚園は、宗教法人九品寺を母体とする学校法人明照学園が経営し、40年以上にわたって、いわき市の幼児教育に尽くしてきた。東日本大震災や少子高齢化などの影響で、将来の地域人口の減少が懸念されている同市にあって、2018年4月から幼保連携型の認定こども園として再出発し、老朽化した園舎も建て替えるにあたり、園には「未来を担う子どもたちを地域ぐるみで見守り、育てていく教育環境を実現したい」との願いがあった。

「地域のコミュニティを支えるお寺と同様、お寺が経営するこども園も、地域に根差して、地域とともに歩む存在でありたい。そうした思いを新しい園舎に反

映できないかとジャクエツにご相談したとき、モデルとして、ある園舎をご紹介いただきました(遠藤園長)」

その園舎はジャクエツが東京のアトリエ9建築研究所とともに手掛けたものだった。園の教育コンセプトを明快に表現した建築は園長の思いとも合致し、九品寺こども園でも共同設計での新園舎づくりが始まった。園舎の内外で活動する子どもたちの姿をまちの一部とする設計プランを提案し、園児が日本文化に触れる「土間」の導入など、園側の要望も盛り込みながら、理想の教育環境を形にしていく。その過程で設計や仕様の細かな検討が繰り返され、施工開始後も調整が続けられた。

「私たち現場からの多数の要望に対して、設計チー

ムの皆さんが、予算や工期、安全性などの範囲内で可能な限り実現しようと、最後まで根気強く取り組んでくださったことに感謝しています(遠藤園長)」

園と設計チームの綿密な意見交換を経て、めでたく開園を迎えた園舎では、設計の意図通り、子どもたちがデッキや園庭を活発に動き回る姿が見られる。今後はプレイルームを地元住民に開放するなど、地域の交流拠点として活用することも視野に入れている。

「地域の皆さんにも気軽に集まっていいただける施設を目指しています。園としても地域と積極的に関わって、より良い変化を起こせる存在になっていきたいですね(遠藤園長)」



PROFILE

学校法人 明照学園
九品寺こども園 園長
遠藤 弘道 様

1979年生まれ。学習院大学文学部フランス文学科および大正大学人間学部仏教学科卒。2007年、明照学園に事務長として入社し、15年より園長に就任。浄土宗九品寺副住職のほか、浄土宗保育協会理事、いわき市私立幼稚園協会理事、日本青年会議所教育部長(2015年度)なども務める。



株式会社アトリエ9建築研究所
代表取締役・建築家
呉屋 彦四郎 (写真左)

これからの幼稚園や保育園、認定こども園には、地域の核となる役割が求められると感じています。そうした現状認識と園からの要望を踏まえて、子どもたちの姿が建物や敷地の枠を越えて飛び出し、元気と笑顔がまちに広がるような建築を目指しました。このような「園舎らしくない」設計は、園側のご理解とご協力はもちろん、全国で数多くの幼稚園や保育園と関わってきたノウハウを持ち、安全面など的確なアドバイスをくださるジャクエツの存在があるからできることです。今後も信頼し合えるパートナーとして、地域の財産となる園舎をともに手掛けていきたいと願っています。

建築設計部長
東京設計事務所
坂東 正 (写真右)

建設上の制約が多い園舎においても、建築物としてのメッセージを明確に示せることが、アトリエ9との共同設計の強みだと感じています。今回も園や施工会社のご協力をいただきながら、当初からの「園舎全体が遊び場」のコンセプトを実現することができました。私たちの手掛けた園舎が、園児の健やかな成長と地域の発展に貢献できれば幸いです。



設計事務所 ARCHITECTURE OFFICE

子どもたちが主役の「宮殿づくり」

ジャクエツの園舎設計のコンセプトは“子どもたちの宮殿づくり”。
 これまでに、幼稚園・保育園専門の設計事務所として、
 500園以上の園舎を設計させていただきました。
 プランニングからアフターフォローまで、
 子どもたちの成長を第一に、それを支える職員の皆さまを
 施設設備の面からサポートいたします。

株式会社ジャクエツ環境事業
 一級建築士事務所



名古屋設計事務所

愛知県知事登録(い-27) 第13105号

〒460-0012 名古屋市中区千代田5-11-32
 TEL 052-265-2730

大阪設計事務所

大阪府知事登録(イ) 第24853号

〒555-0012 大阪市西淀川区御幣島3-11-3
 TEL 06-6471-3939

広島設計事務所

広島県知事登録17(1) 第5246号

〒730-0843 広島市中区舟入本町6-21
 TEL 082-531-0770

東京設計事務所

東京都知事登録 第44805号

〒108-0074 東京都港区高輪4-22-4
 TEL 03-5789-1100

宇都宮設計事務所

〒320-0847 宇都宮市滝谷町20-17
 TEL 028-614-5070

横浜設計事務所

〒221-0865 横浜市神奈川区片倉2-22-1
 TEL 045-488-6253

福岡設計事務所

〒812-0896 福岡市博多区東光寺町2-8-31
 TEL 092-451-0117

JAKUETS